

話題のひろば

<I>

□東京・京都・神戸の文化交流と

ネオ・トロピカル 神戸夜会優雅に



写真左上はシャンパンで東京・神戸・京都の交流に乾杯する風景。右上は田辺茂一さんと、ロエルドイツ領事の味な交歓。右下は森会長夫妻、市長、吉村京都会長、植野神戸代表。左下は翌日芦屋奥池の植野美術館へ見学会。高木東六、望月美佐さんを迎える植野氏。

東京と神戸の文化交流のための交歓パーティが、6月17日午後4時より相楽園会館で、日本ネオトロピカル協会の主催で、東京、京都、神戸の文化人、経済人約200名が集ってなごやかに開かれた。

司会は松島武雄さん。森美代子会長と夫君の森喬さんは「多様化し世界の中で経済大国と呼ばれる日本の精神文化の必要性を、音楽や舞踊を通じてゆとりを持ってやりたい」と。京都の吉村恵美子会長（亀屋吉信）神戸の植野藤次郎代表（KKエンバ）のあいさつに続いて、宮崎辰雄神戸市長が歓迎の言葉と森会長と共に風見鶏ケイキのカット。エール交歓は「風見鶏」の音楽にドイツ領事のロエルさんがドイツパンを持ってでると、ハッピー姿に草加せんべいのみり分け荷物の田辺茂一さんが「おていちゃん」の音楽で登場。高木東六さんと長島隆さん、竹鶴ニツカ専務と石野証券社長が乾杯の交歓に続いて、新井満さんの唄、奈良の石崎会員夫妻のエキビジョン。小曽根実トリオと、小田イタルトリオの音楽でダンス。チャリティの福引きで、神戸文化ホールと家庭義護促進協会へ売上げを贈呈。エンディングはシャンパでミナト神戸の夜会にふさわしい「さよなら」だった。

話題のひろば

<II>

□菅井汲氏の緞帳披露

美の芸術講堂

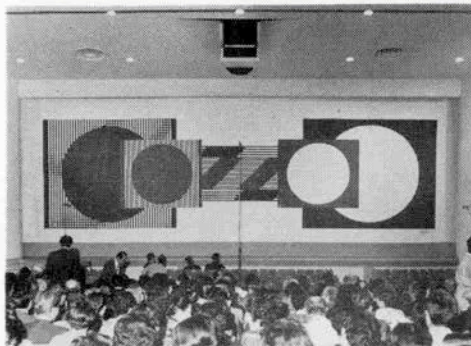
甲南中・高校に完成

学校設備としては画期的な芸術講堂が芦屋市の甲南中・高校（石井義仁校長）に誕生した。

鉄筋コンクリート四階建てで、一階に卓球場、二階に小体育館、美術・工芸・音楽教室、三階が講堂となっている。講堂の中央には菅井汲氏デザインによる白地に真赤の円と黒い直線が斬新なつづれ織の緞帳がひときわ映え、音響設備や映写設備も超一流のもの。

講堂側に甲南の卒業生で日本の近代美術に偉業を残した長谷川三郎氏の代表作品を常設した記念ギャラリーや、小磯良平画伯を始め長谷川の影響をうけた十八名の画家の作品を一堂に集めたアートサロン、同じく卒業生で才能を惜しまれながら若くしてこの世を去った音楽家貴志康一氏の自筆音譜、草稿などを展示した記念室が設けられている。

六月三十日に催された講堂竣工記念式典では石井校長、進藤次郎理事長の挨拶の後、小笠原副知事らから祝辞が送られ、菅井氏、山本清雄氏ら功績者に感謝状が贈られた。朝比奈隆氏率いる大フィルと辻久子さんの演奏で貴志康一作品発表会と挿本栄、辻久子さんによる貴志康一作品演奏会では会場内がうっとり魅せられた。来年創立六十周年を迎える甲南学園の素晴らしい芸術環境が中・高生の教育にどのような影響を与えるか期待される。



<左上>菅井汲氏製作による斬新な緞帳<右下>挨拶をのべる石井義仁学長<左>と進藤次郎理事長<右><右上>朝比奈隆氏率いる大フィルと辻久子さんの演奏で貴志康一作品発表会
<左下>長谷川三郎画伯に関係の深い作家や地元の代表的画家から寄贈の作品が陳列されているアート・サロン

ジーンズ仲間のジョイントタイム

ふだんはジーン 仕事はネクタイ。 安藤義則VS堀北ユリ

★聴いている人の気持ちを先取り

堀北 どこで演奏してるの。

安藤 「サント・ノーレ」「木馬」

まだ他にも。今仕事しまくってる
堀北 一日に何曲位。

安藤 五十曲ぐらいかな、わりと
即興的に演ってしまいうから。ジャ
ズ喫茶では「ソウルスピリッツ78」
というトリオで演ってる。こない
だのジャズ・イン・コウベではそ
のメンバーで出ましたよ。

堀北 ジャズピアノを教えてらっ
しゃるのでしょうか。私はクラッシ

クピアノの方で、週に四日位、主
に小学生を教えるんだけど、ジ
ヤズの方も勉強したいわ。

安藤 ジャズが似合いそうなム
ドをもってるね。クラシックを長
く演ってる人は耳ができてから
コピーが速いシテクニクもある
から上達が速い。だけど子供を教
えるってのは大変でしょう。

堀北 ええ、叱かると泣いちゃう
し、甘やかすと練習しないでしょ。
でも小さいときの印象って大切だ
から、音楽が嫌いになってしま
うといけないから極力好きになるよ



うに、と思ってるんです。

安藤 そりね。大事なことやね。

僕なんか相手が子供だったらとても大変でダメ。

堀北 お客さんの中でも耳のこえてる人が多いでしょう。聴かせるときの苦労なんて、どう？



安藤 義則さん
ジャズメロディを求めている。中退してロサンゼルスへ。毎夜、北野店へ。北野店へ。



堀北 コリさん
歌にまいっしうに彼女を演奏する。魅力的な彼女。フラメンコという魅力的な楽器です。

てくれたらこちらにもノルね。

★夏はホワイトジーンズがイイ

堀北 演奏するときとはどんなファッションかしら。

安藤 ふだんはだいたいジーンズだけドメインが「サント・ノーレ」

だからそのときはネクタイとストラップス。

堀北 学生時代、ピアノのレッスンにずっとジーンズで行ってただけど、作業服”っていわれたことがあるの。今はとてもフアッシュヨナブルになってフレアーのジーンズもできてるのね。経済的で重宝だわ。

安藤 夏ならホワイトジーンズもいいね。ところでフラメンコを習ってるのか。一度踊っていただけないと……。

堀北 一年程前に東伸一矩先生の舞台を観て、ワァー、イイな！と思ったらいつのまにか習って。

安藤 フラメンコときけば、花でも口にくわえてキツとした女の人を連想する。セクシユアルな感じがするなあ。一曲は何分位踊るの堀北 十分位。まだ半分ぐらいなだけで。大体、一曲で上がるのに一年ぐらいかかるの。やっぱ

り人に見せるだけのものにしようと思えばじっくり時間がかかりますよ。何でもそうだけど。

安藤 指のひとつひとつの動きにしても意味があるんでしょう。

堀北 ええ、そうなんです。動きが激しくて、地から湧きだすようなすごい迫力があるんですね。魅力があるから一生懸命やらないと今年の秋、私の生徒のピアノの発表会をやって、それから私のフラメンコが一曲できあがったらその発表会を開きたいわあ。

安藤 僕もリサイタルを、とがんばってるんですよ。音がでる瞬間って楽しみですね。最初和音を弾いて次に音を動かすとき、聴衆のうごきがかかる時があつて、それを感じとれたらとても気持ちいい。フラメンコだつてそうだと思いますけど、自分の音楽、踊りの一挙一動がお客さんの心に伝わってるのはスゴイしあわせやね。

●JOINT情報



ROCKO MOUNTAIN HIGH

世良公則のコンサート

いよいよ間近か

8月22日/12時~4時

六甲人工スキー場に集合しよう

チケットがあとわずかしかありませんのでお早めにお申し込みください。夏休みを青山の世良くん、体の具合も悪くありません。野外コンサートは大変切ります。空の下で大いにエンジョイしてください。¥3,100.- (阪神御影から貨切バスで六甲山へ上ります)

ジーンクライフ・スアー・ジョイント
jjoint
JEANING LIFE
三章・ジョイント
〒600神戸市生田区三宮町1丁目3番地

Orthodontist



播磨矯正歯科

神戸・元町 ☎391-5288

ニユース漫画（神戸新聞「笑点」を
必死のパッチで描き続けて七、〇〇〇回（二〇年）

たかはしもう笑品集

内容 「最新カラーマンガ」（9頁）

「笑点20年」（36頁）「似顔絵一〇〇人」（54頁）

「ニユースマンガ家の一日」（4頁）

二、五〇〇円
送料二〇〇円

お申込みは「たかはしもう出版会」（月刊神戸っ子編集部内）

送金方法／太陽神戸銀行三宮センタービル支店普通預金一五二七〇四「たかはしもう出版会」または月刊神戸っ子あて現金送金してください。

★神戸ファッション市民大学OBによるグループ
 <神戸のファッション都市化をめざす>

K. F. S. news 35

事務局/葦谷区二宮町4丁目6ノ2
 パールマンション6F
 デザインルームナカハラ内 TEL 222-4040

6月例会 街と人と博覧会——諸岡博熊さん



暑中御見舞
 申しあげます

1978年盛夏
 K・F・S・理事一同

6月22日のKFS例会は、雨が降ったにもかかわらず予会員以外の聴講生の多い熱心な会になりました。

「神戸の文化は風見鶏文化といえる。つまり流行や時の流れに迎合してきた文化だからです。造船、製鉄といった重化学工業に街の経済は支えられてきたかのように見えるかもしれないが、そうではなく「サーヴィス業」こそ、神戸の産業なんです」と、鋭い文化産業論。聞き手の方もこの日はいつも以上に熱心で、ポर्टアイランドにミュージアムをつくるべきだとか、文化論、産業論で話し合いが続ききました。

この日の参加者は男性が圧倒的に多数。こういうお話しの日こそ、女性の皆さんの参加が沢山あってほしかった、と思ったのです。

諸岡さん曰く、「今は『文明』の観点ではなく『文化』の観点で判断する時代ですよ」ということか、おわかりでしょうか。

神戸市企画局の監修による「神戸文化論」を当日、テキストがわりに使いました。まだ書店売りはしていませんが、神戸文化に関わる約40人の人たちの座談会が取られているものです。文化の時代といわれるこれからの時勢を知るためのテキストになるのではないのでしょうか。

会員ニュース

●館 忠之(ハチタチスタイルングオフィス)

昨年8月、繊維産業構造不況といわれる中、考えるところがあり独立してから丸一年を迎えようとしている。現在コンパター12社、アパレル2社(婦人・子供)の企画業務を年間契約で行なっている。その他のスポーツでは、インテリア関係の意匠、手描キリント、マタニティウェアの製造卸など、いろいろ手がけ忙しい毎日。

メンズファッション業界から神戸のレディスファッション業界に移って一〇年。メンズファッション全盛期から、レディス全盛期へと、ファッション業界の急転直下の発展の中で仕事を反響してきたけれど過去を振り返れば反省すべきことが多々ある。



ここで改めておちこんだ経済不況の中で、今自分たちは何を行うべきか、既成概念にとらわれずに真剣に考えてそして実行することが重要だと思うこの頃だ。これは「良い物作りに徹し、心をもって販売する」こと、ではないだろうか。(写真は長女の杏奈ちゃん)

●谷川文字(ハニートデザイン) アトリエ・ふみこ

6月6日から2週間、ヨーロッパ各地を再び訪れて、前回以上に印象を深くしたのは、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア諸国の歴史の重鎮と、東西文化の対照性でした。

歴史の遺産ともいうべき石造の建物の中で、いまも日常生活が営まれていることも驚きます。また除つた単色の外観を持つ壮大な宮殿の内部は、まばゆいばかりの華麗さで、豪華な家具調度と、色彩豊かな絵画とアコレーションで飾り立てられていることは、内と外を簡素な美で統一した日本の京都御所、桂離宮などとはまったく対照的です。



一方服飾に関しては、この関係は丁度逆になっているように思われます。ヨーロッパの婦人子供服の色彩は、色のない色、ベージュ系な色が目につき、日本のカラフルなそれを見慣れた私達には、物足りない感がする程でした。(写真はロアール川古城にて左が谷川文字さん)

●KFS総会

長田ジウ・イブラザが7月21日開かれた総会で新役員が決定しました。くわしくは次号で掲載。

●神戸ファッション市民大学

もう第6回目を迎えます。K・F・Sの会員の皆さんにとって「母校」なわけですが、カリキュラムは毎年進みます。聴講も可ですので、一度プログラムを御覧になっては?

ママゴンにささげるバラード²⁰
かわいそうなママ

岡田 淳





Jazz



Ⅷ

ニューヨークの さくらんぼ



淀川 長治 / 映画評論家

朝の十時半発なので横浜のツルミからの私は恐れをなして前夜から成田泊りにした。

森のなかに三つの巨大ホテルがあるのがフシギに見えた。

朝九時にホテルの十二階から下を見るとハタケをたがやしている人がみどりの中に見えた。六月の三日。

ヒコキの中で二人がけの隣りの六十才くらいの巨大な外人がブラジルの商工会議所のえらい人だとわかった。話しかけられてきて政治論でもぶたれては困るので、ブラジルで一番大きな動物は何ですかと、せんべんを打って聞いたところ、この巨人は本気で何だろうと考え始めた。けつきよくこのオッサン、わからないと恥づかしい顔をした。これだけに十五分間。

アラスカのアンカレッジのゆきもどりのお楽しみは(てんぷらウドン)。アンカレッジ空港でひと休みすると必ずこのウドンにゆっくりと近づいてゆく。駆けつけたのだが、みっともないからである。

このウドンの楽しみはヒゲの太ったアメリカ人らしき男が前だれをかけてウドンのタマを上手にゆがいて(てんぷらウドン)をドンブリに入れるその西洋人の姿が見たいからである。



ブロードウェイの芝居通り

ニューヨークに着くと、もうマンハッタンが(ことしもヨコソ)という顔をしていた。

毎年ウオーウィック・ホテルに。すると荷物運びのホテルのこぶとりの中年男が、私を見るなり「オー・マイ・パパ」。びつくりして「パパ?と聞いかえすと、「パ:パ:」といいなおす。この男はどうも「パ:パ:」がいつも「パ:パ:」に聞える発音をする。

チップをやると「パパ」から「チップ」を貰う気がしないと「ホントにキッパリ断つたので、あとでニューヨークではこれは(美談)だとみんながほめた。

× 六月のニューヨークは(さくらんぼ)が美しい。赤いというよりも黒い。バラの中でも一番美しいバラみたいな感じのくろずんだ赤である。これを四十二丁目で買って紙ぶくろに入れてもらってホテルに持ってかえて白い洗面器の中に入れて、ほりこんで水をかけると、その白いタイルと黒いさくらんぼのカラーの組み合わせがアメリカ美術を感じさせる。

× 一回もまだ行かぬチャイナタウンに行こうということになった。ここはマンハッタンの下町のもっと下町のバ



「腫れた太陽は砂の上に」(荒本孝一作) S.52.2.17 神戸文化ホー
写真左(ヨーコ)角聖美(ジベタ)緒谷律子 写真右(女)神崎



松尾忠雄さん
＜甲南女子高校教諭＞



小松八重子さん
＜山手女子高校教諭＞

のモデルケースを創ろうと名乗りを上げたんですよ。
荒本 演劇に関しては神戸大会です。神戸の高校演劇が中心になり、市高演といいますが、それだけに神戸の特色を出したいと思っています。例えばテキストの巻頭に陳舜臣に芝居について書いてもらったり、三浦朱門の「神戸」という生原稿を銜並にあしらったり、神戸のデザイナーナート部六郎にレイアウトとシンボルマークを依頼したり。

松尾 残念なのは上演校に神戸の

ワリイに近いところなのでこわいと思っていた。

とここでこのチャイナタウンの古めかしさはこれまた美術だった。超満員でごったがえしの盛況のひとつの店にはいる。席にやとつく。すると隣りの丸いテーブルに十人くらいの中国家族が食事をしていたのが私を見るなり「アンタシットルヨトキヨデミタヨサヨナラサヨナラサヨナラ」と笑顔いっぱい手を振った。

このチャイナタウンのレストランは酒を売らない。ビールも出さない。六月の食事にビールなしでは？そう思ったところ酒の持ちこみOK。外からみんなかんぶくろにビールカンやウイスキーを持ちこんできて、「おいコッ

ブ」という。面白い。アルコールには責任もちません、というこのチャイナタウンぜんぶのレストラン。いかにも家庭的。ガラの悪いどころかなんとお気のおけぬ、しかも何を食べても安くておいしかった。

サカナ屋、クスリ屋、線香屋とならんでいる店のあいだに大きな八百屋。そこでまたあの(さくらんぼ)を紙ぶくろにふたぶくろ買った。四人でホテルにかえて、二〇階にあがってから気がついた。ひと袋をタクシーの中に置き忘れてきていたのだった。

× あくる朝、ホテルのロビーに出ると、番頭が私を待ちかねていたかのように私のそばに(さくらんぼ)のひと袋を持ってきた。

ゆんべ夜の十二時ごろタクシーの運転手が「たしかこの日本のお客の忘れもんだ」とこれをとどけてきましたよ。

チャイナタウンから帰ったのが十時半。するとあのタクシーはあちこちと客をのせてから誰かの客に教えられ考えてから、ここへとどけに来たのか。その運転手にチップをあげてくれましたかと聞くと、番頭は「いいえ」と当然の顔をした。

オーマイババとこのサクランボはマンハッタンの奇蹟だと人はいう。

× マネー・トークス。金ですべてが動くニューヨークではこれは奇蹟とみんなが感激した。

× マンハッタンには三〇の劇場、オフブロードウェイに

Dancin'



「 그리스 」 と 「 ダンシン 」 のポスター

se



音楽界というところも、なかなか神秘的なところだ。一介のソプラノ歌手の彼女が、あのフランスの世界的に有名な音楽家××氏の愛人だなんて話を聞かされても話が高尚すぎてわれわれしろうとは理解しがたい。

彼女は三十を過ぎてまだ独身、彼も日本へ来る時は独身、

彼がおしのび旅行で来れば、電話があつて、彼女はいい、それと、これまたおしのびで彼の泊っているホテルへ出かけるのだ。

もともと彼女はオペラ歌手らしい。

弟子もたくさんいて定期的に舞台に立つという。

しかし、そう大した役をもらった話は聞かない。

病気の両親がいて、彼女はアルバイトにシャンソンや

ある。口をまん丸く一杯にあけたその歌い顔は確かに美しい。

その作られた声のソプラノにうっとり耳を傾けながら彼女を見てみると、彼女は美人に見えてくるのである。要は、彼は桜の木の下で歌う彼女に一目惚れしてしまつたのだ。

彼は彼女との旅行を計画した。得意先の招待旅行に彼女をゲスト出演させることにしたのだ。

それが一番自然に彼女に接近する方法だと考えたからである。

北陸の旅は雨がふり出して寒かった。それでも、能登の海岸で、さくら貝を皆にひろってもらいながら、彼女



★おかげさまで20年

クラブなぎさが20周年を迎えた。一口に20年というがその道程は大変なもの。「そうですね。けれど、まだまだ先が長いから、のんびり今まで通り続けて行きたい」とママの与三野弘幸さん。



クラブ なぎさ



向田俊博さん

つて8月6日(日)楠公会

★エル・ヴィノが5周年

味で人気の北野町のエル・ヴィノが5周年を迎えた。そこで向田俊博さんを励まそうという世話人一同が集

べ放題・飲み放題のサービステーになっている。会費4千円。ゲストシリングも入つての楽しいプログラムを企画中なので、ぜひお出かけを。
 □クラブなぎさ 生田区北長狭通2の1 電話331-8626
 □姉妹店 クラブよさの 電話391-5838

★コバカーナの歌い手

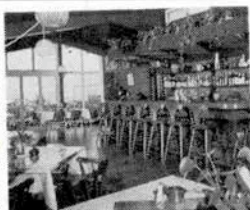
マレーネさんが帰国。ブラジル料理の店「コバカーナ」(生田区中山手通2)赤い風車のあるビル地階で歌っているサンバの女王、マレーネ・ブラックさんが9月初めに故郷ブラジルに帰国することになった。そこで8月23・24日、お別れパーティ「さよならマレーネ・ブラック」が同店で開かれる。この両日は会費3千円で飲み放題食べ放題。サンバの好きな連中もたくさん集まってきて、店内いっぱいサンバ&サンバになりそうなの雰囲気。どなたでもご来店くださいとのこと。マレーネ・ブラック嬢。また

マレーネに代わって同店で9月か

●神戸うまいもとドリンキング

六甲ムーンライト
 レストラ
 六甲ムーンライト
 灘区六甲山西谷
 六甲オリエンタルホテル西100米
 電話891-0497

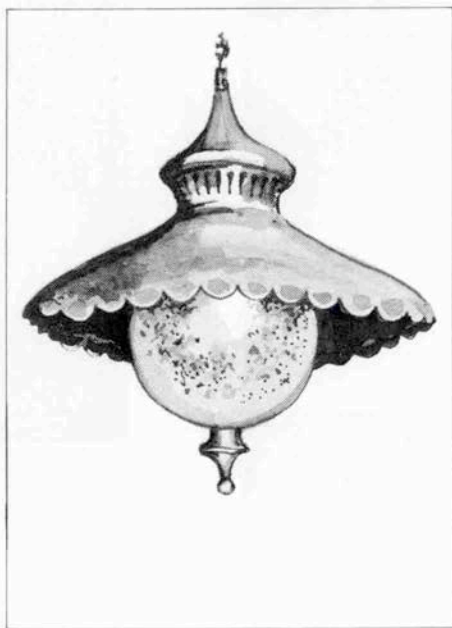
連日の暑さにまいるこの頃、涼しい六甲山で食事とシャレしてみませんか
 レストラ六甲ムーンライトは今、最高のシーズンを迎えています。
 六甲山上からの素晴らしい眺望を楽しみながら(特に夜景は素晴らしい)和田山牧場直送の穂高ビール(タジマ牛)をムーンライト特製のソースでエンジョイできます。



山小屋風の六甲ムーンライト

その他、各種オードブル取合せ、ビーフフォンデュなどメニューも豊富で、ガーデンでは冷た

暑中お見舞い申し上げます



盛 夏

花世

古川 和枝
神戸市生田区中山手通 1丁目74
荒神ビル6F ☎391-4116

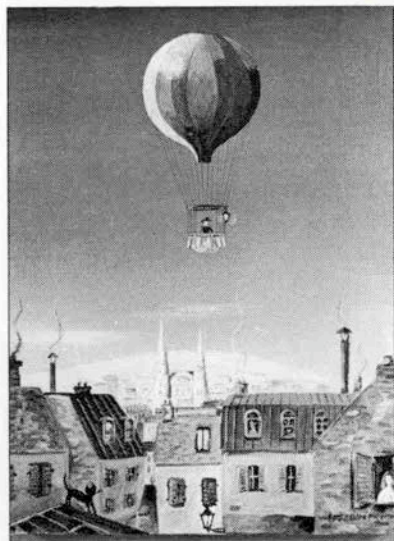


8月13日-17日の間は夏休みをさせていただきます



らいいりん

喫茶・ドリンク/フラワーロード・ニューポートホテル北側
 KIMMビルB, ☎(078)251-2205
 8:00AM~9:00PM (11:00AM~2:00PMランチタイム)
 スタンド/生田区東門筋 ☎(078)332-0020
 ●2:00PM~5:00PMは女性に割引チケットを進呈ノ



画・このこのみ

8月のギャラリーご案内

■8・1/火→14/月
このこのみ〈今様錦絵〉個展

第一回現代童画大賞を受賞されたこの先生の作品展。
 メルヘンの世界へ貴女をお誘いいたします。

■8.17/木→31/木

村上翔雲書作展

現代俳句・詩を書く世界で表現。気迫のこもった
 小品展です。

SALON & GALLERY

神戸時代

神戸市生田区中山手通1丁目28
 モンシャートコートブキビル1F
 TEL. 078・242・3567

日曜祭日休・15、16日は休ませていただきます。
 TEATIME AM11→PM5
 DRINKTIME PM6→AM0

北野坂のほとりにある小さなサロン神戸時代。このサロンから新しい時代の波を。

神戸百店会 だより



★神戸百店会、夏の集い

久々に風月堂ホールで
7月11日(火)新しい元
町風月堂ホールで神戸百店
会夏の集いが催された。



「神戸は文化を売ろう」と森本氏

森本さんは「明日の文化
商業論」と題して戦後の日
本経済の動向をわかり易く
説明、亀井さんはスライド
を使って毎日動物と接して
いる亀井さんならではの深
い愛情のこもった動物社会
を熱弁。およそ動物園に行
く機会のない百店会の面々
からも大きな拍手がおくら
れた。この後、食事をしな

がら親睦会がもたれ和やか
な雰囲気うちに閉会。P
R不足で参加者の少ないの
が残念だった。

★比奈古多が再開されます

錆の壺の木村さんの北野
町の店。比奈古多(番2411-
1306)が木村さんの趣味
と実益を兼ねた焼きものを
売る店として七月下旬再開
されました。

古伊万里を中心としたコ
レクションの他、意欲的な
若手作家の作品も並べられ
ます。皆さんの意見をとり
入れた店にしたいと、窯を
訪ねる旅・古道具屋をあさ
る会・物々交換会などなど
この店を中心に企画も考慮
中です。白木のテーブルと



比奈古多にて木村さん

椅子にどっかり座わり、豊
富な話といひ時間が過らせ

るお店です。気軽にお立ち
寄りを。

昼は珈琲、夜はウイスキ
ー程度の飲みものもありま
す。

★風月堂で「人形展」

ヨーロッパ各地から集め
られた人形1500点が7
月7/9日に風月堂に大集
合。焼き物のお人形が多く



人気のまとアンティークドールたち

労働者、道化師、農婦など
といった生活を表わすもの
からパリのチュチュルリュ
工房のバリジエンヌ然とし
た美女まで、大好評だった。

★花嫁さんの予行演習?

7月9日ニューポートホ
テルで婚礼衣裳のショーを
かねた結婚式の披露宴をモ
デルを使って演出。3階宴
会場に集まった「お慶びの
日間近」の約250人は細川董
先生の講演に耳を傾け、ホ
テルの味試食にも真剣その
ものでした。

いつも多数の御応募がありとご
ざいます。今度もニューポートホ
テル11Fレストラン「鳴門」の御
招待券を二名の方に差し上げます
神戸っ子宛にお申し込み下さい。

●シヨップトビックス

★お菓子のドンクに隣本店がオー
プンしました。場所は阪急岡本駅
の南側。ティールームもあるので
学生街の新しいたまり場になりそ
う。番45217841

★チョコレイトのコスモリタン
の新発売「サン・ヴァレンティン」
は、まるやかなところけるような舌
ざわりのホワイト。6コ入り335
0円より



サンヴァレンティン 350円

この夏の
ちょっと
したアレ
ゼントな
どに、喜
ばれそう
だ。包装
も素敵

★呉服のみよしが創業55周年を
記念に9月11日、12日オリエンタ
ルホテル2階大広間で展示会をし
ます。また、大丸前北側旧田井介
商店の東隣(旧タカシ)にサンメ
よしやを9月初めにオープン。大
丸前の一角にこれまでなかった船
来雑貨の店です。ブランド物のパ
ック、ベルト等皮革製品を直輸入
で入荷するもので、お値段はお安
目になるかと。

★中川衣裳店の中川八重さんのア
メリカ旅行のおみやげは、アメリ
カのウェディングドレス。日本の
ウェディングドレスと違って後ろ
裾がとても長いのが特徴。教会の
階段をひきすって歩くのですね。
髪飾りも日本のより多種多様で豪
華だそう。また肩や胸元を隠して
可愛らしさを表わす日本の衣裳と
反対に、大きく開いた胸元を後ろ
でエレガントを表現。生地は白地
のチュールにレースの花をフッパ
リケしたものが多くとか。これは
20年前に中川さんが外国の雑誌で
見つけた生地で、今でもそれが使
われていてびっくりしたそうです。
ともかく国によって花嫁衣裳
もいろいろ違うんですね。

ポケツトジャーナル



★フアツション市民大学 第6期生募集中

フアツション都市神戸を
目指して始まった神戸フア
ツション市民大学も今年で
6年目を迎える。一泊の宿
泊研修という新しい試みも
ある今回、多様なカリキュ
ラムで9月5日から14講座
が開講される。

また今年度からは靴業界
の人材養成に的をしぼった
「ケミカル専門コース」も
新設された。



梅橋忠夫さん 森砂丘子さん

日程と講師(毎回5時~8時) 9
/5 井上隆一郎(産業評論家)「
パリのフアツションビジネス」9
/8 下川公人(長銀部長)文化産
業論 9/11 秋岡芳夫(東北大教
授)デザインとは何か 9/18 梅
村忠夫(国立民族学博物館見学会
9/22 早川良雄(クラフティ)デ
ザイナー)都市の風景 9/25 江
尻宏(流通経研)アパレル・マー
ケット 9/29 藤岡必三(ベルエ
イシ社長)「フアツションナブル



オーバーライン邸

★北野町に異人館センター
ブームというより神戸ら
しい町として考えられるよ
うになってきた北野町に異
人館センターがオープンす
る。風見鶏の旧トーマス邸
の南側にあるオーバーライ
ン邸がそれで、現在市が買
いあげ修理中、9月上旬に
開館の予定だ。

イン・タオル」10/2 乾出明(美
術評論家)近代美術とフアツシ
ン」10/6 森砂丘子(デザイナー)
「色彩論」10/7 18 宿泊研修三
浦保(神戸新聞コミュニティセ
ンター)神戸のコミュニティ」10/
16 磯藤臣(作家)「神戸に住んで
10/20 木口衛(ワールド会長)私
の思うこと」10/23 濱野水谷順介
(建築家)小泉康夫(本誌編集長)
お問い合わせ/神戸市経済局商工課
電話 331-8181

2階建のこの異人館の1
階はユーハイムの経営する
喫茶室、2階は15~20人の
席のある会議室と異人館の
資料の展示室になる。随時
係員のいる異人館案内所も
館内に置いて、北野町を訪
れる人の便宜をはかる。ま
た903㎡ある庭園は市民
の公園に開放、すでに完成
している北野町東公園とと
もに、地元の人たちや観光
客の憩いの場になるように
と計画されている。



去年の夏まつりの絵行燈

★生田さんの夏まつりは

唄え唄えのからおけ大会
8月3、4、5、6日と
生田神社は夏まつり。正式

には境内の大海神社の大海
まつりなので、宵宮は海上
安全祈願で始まる。海の女
王、クイーン神戸の美女た
ちも参加。また境内には阪
神間の文化人による絵行燈
500点が飾られ、夜店で
賑やかな夜の境内を更に賑
わせる。

今年のおまつりの特徴は
毎夜特設ステージでの素人
のど自慢大会。そしてフイ

誕生日 ありがとう 運動

あたたかい心の手紙

毎日、本運動へ全国から寄せら
れるあたたかい心もちった手紙
の一部を紹介いたします。

◇四月二十八日は、わたしの二十
一回目の誕生日です。この運動に
参加して四回目の誕生日です。こ
れまで誕生日という一人から何
かをしてもらう日」のように考え
ていましたが、今は「まわりの人
に感謝をし、こちらから何かをし
なくては」と考えるようになりま
した。(中略)今年から町のボラン
ティアグループに入りました。が
んばって続けていきたいと思いま
す。(後略)

(五月一日着信 兵庫県神崎郡・
女性)

◇わたしが二十才の時友人が神戸
新聞をみて、この運動に参加させ
ていただき、施設訪問の機会を得
たりしてよかったです。その
後貴運動のご活躍を聞くにつけ
安心しております。

あと一か月余りで結婚して関東
にいりますが、これからもいろん
なことに関して他人事としないで
自分もいっしょになっていく人間
になりたいと思います。(後略)

(五月二四日着信 神戸市)

◇先日わが家でさわやかな誕生日
を祝しました。長男が、本運動に献
金したいと二百円の中から二百
円出し、次男がこまかいが少しし
かないので二百円出しました。そ
でわたしが二百円だけ献金いたし
ます。(後略)六月十五日着信
愛知県半田市(主婦)

誕生日ありがとう運動本部
神戸市并合区御幸通八十一
神戸国際会館一階郵便局の隣
電話二五一八六一一内線三二六



ナールの6日の晩のナイト・イン・コウベと題するからおけ大会。

神戸バーテンドー協会、バーボンクラブの後援となれば、日頃生田神社周辺で喉をきたえている紳士方や歌姫たち、こそつての参加となるだろう。どうやら今年の生田の神さま、時流に敏感な粋な神さまのよう。

★紅蓮童女をひっさげて待つてましたノ夜行館
昨夏、生田神社境内で小屋掛け興行をし、神戸っ子の血潮を湧かせた劇団夜行館がまたやってくる。

今回の演し物は「紅蓮童女」作・演出は座長の笹原茂朱氏。演じまするは阿修舞・守鏡丸、ひいふの雛、不死身のサッコの四人。

一行はねぶた祭のあと8月25日に神戸入り、生田さんで小屋掛け開始という。神戸を初演に、東京にも7年ぶりに興行に巡るというだけに意気込みも盛んで、一年ぶりの再会が非常に楽しみである。



阿修舞がまた来る

劇団夜行館小屋掛け芝居興行「紅蓮童女」
日時／9月1・3日 7時開演

所／生田神社(電話1-3851)
木戸銭／当日1200円前売1000円
お問い合わせは神戸っ子編集室(電話1-2246)なほ生田神社／神戸っ子文化ホール／さちなかブレイクイデ／ブレイクイデジャナル他で前売中

★神戸港花火大会

神戸の夏に欠かすことができなくなつた港の花火大会が、今年も8月6日に行なわれる。午後6時から暗くなりかけた街を背景に始まるが、本番の見所は8時からの約1時間。打ち上げ花火や仕かけ花火約500が賑やかに、華やかに夏の夜空を飾り海に落ちる。

さて観客席だが、お推めはポートアイランド北公園と神戸大橋の上。例年のようにかなりの人が予想されるので、車は乗り入れないようにとのことだ。

★花柳芳恵一子

△四ツの挑戦▽

神戸の女流舞踊家として着々とした歩みを隔年毎のリサイクルで見せる花柳芳恵一子△兵庫区上橋通▽。第6回は、昔屋ルナホールで8月3日△木▽午後4時30分より開く。今回は、森敦原作、新井満曲・歌、花柳芳次郎振付の「月山」を今岡頌子、池田貞信と。駒井義之作、藤倉推峰曲の「近松恋飛脚」おさん茂兵衛を

芳次郎と。「心中天網島」を中村扇雀丈と。「夕顔」を實川延若丈と踊る。



花柳芳恵一子と扇雀

特に「月山」は神戸では兵庫県洋舞家協会のメンバーや藤間緑寿郎さんらの競演で、それぞれの意気込みが激しかっただけに、モダンダンスと組む芳恵一子の異色作としても期待される。他も道行ものコミカルものと新境地が開かれることに期待したい。△¥6,000▽
お問合せ芳恵一子の会
電話1-8560

★家具に関する随想を

お寄せください

家具の老舗江戸屋(永沢町交差点角)が創業96周年を記念し、家具をテーマにした随想を広く一般から公募している。審査に田辺聖子、足立巻一という当代随一の両作家を迎えての今回の募集、われと思わん方は



足立巻一さん



田辺聖子さん

美術ガイド



- ★県立近代美術館 7/23～8/13
- 78 興展 マリノ・マリニ展 9/1～10/1
- 小磯良平と県内美術家 8・9月陳列
- ★KCCアートギャラリー 8・9月陳列
- 瀬戸焼・箕浦啓郎陶芸展
- 丹波焼新鋭5人展 8/1～8/30
- ★KCCギャラリー 7/30～8/5
- 岡村夢村・松本三男展 8/6～8/12
- 土塚会展 8/20～8/26
- 日本水彩画会兵庫興支部 8/27～9/2
- 秋季小品展 8/17～8/21
- ★さんちか広場 8/17～8/21
- こうべ芸文美術展 8/17～8/21
- ロバの絵画展 8/17～8/21
- ★ギャラリー新光 8/17～8/20
- 平安孔雀 8/24～9/3
- 洋家具即売 8/24～9/3
- ★キタノサーカス 8月中旬
- 北京一パントマイム 8月中旬
- ★大丸神戸店美術画廊 8/31～8/7
- 鈴木政輝新作洋画展 8/31～8/7
- ホ・ヘミングラスとオニックスコレクション パザール 8/10～8/14
- 日本巨匠の名画巧芸画展 8/17～8/22
- (7F催し会場)
- 加山又造素描展 8/24～8/29
- ★そころ神戸展美術画廊 8/31～8/9
- 備前陶芸展 8/11～8/16
- 肉筆浮世絵名品展 8/11～8/16
- 岡本太郎版画展 8/18～8/23
- ★三越神戸店3Fアートギャラリー 8/17～8/27
- 一陽会10人展 8/17～8/27

是非ご投稿を。

テーマ/家具と私

ページ/四半頁
字数/四百字詰原稿用紙4/5枚

切/8月31日必着

入賞作品/①入選2点(副賞3万円) ②佳作4点(副賞1万円)

詳しくは巻575-13120江戸屋まで。

★さよなら小林芳夫さん!

6月13日兵庫医大附属病院で、小林芳夫さんが胃がんのため永眠された。80才わが編集部の隣室、国際試薬㈱の社長さんで、伸びざかりの成長産業。㈱ミドリ十字相談役、神戸生活協同組合長、神戸市民同友会理事長、県ユースホステル副会長、神戸職域文化連盟会長、生田体育協会々々長、神戸ユニスコ協会々々長、関西

時計花



エンバ美術賞設定される80年代は文化の時代であるといわれている。そして、いまその転換の時期であるともいわれている。

その黎明のしじまを破るようにジャパンエンバ美術賞コンクールが設定された。

日本スウェーデン協会々々長

が現在の肩書で、元兵庫県

教育委員長、元神戸証券取引所理事長、元神戸銀行副

頭取、元ボーイスカウト日本連盟理事長と数々の経済

文化、スポーツ、国際交流に幅広い活躍をされ世話役

をひきうけら

た。その上、演劇、映画、舞踊が

大好きで、西川流の日本舞

踊で麗わしい二枚目ぶりを

發揮された。7月8日は国際

会館で、さよなら小林芳夫

さんと社葬が行われた。



故小林芳夫さん

★横田寿恵さん

瑞宝賞受賞祝賀会

神戸服装専門学校校長の横田

寿恵校長が今年度春の「勲

五等・瑞宝賞」を受賞。その

叙勲受賞記念祝賀の集いが6月25日(日)午後2時

より神戸国際ホテル8階ホ

ールで開催された。砂田文

部大臣夫人、金井元彦参議

院議員の挨拶のあと関係者

の祝詞があ

り、横田寿恵校長のフ

アツシヨ



横田さん

界での功績、職業訓練所での熱心な教育など数々の功労が誉えられた。デザインーの立尾長三さんと彫刻家の新谷秀夫さんからも祝いの言葉が贈られた。

戦後、美術界の大きな話題のひとつにシエル美術賞の設定があった。そして、このシエル美術賞コンクールは今年で22回目の募集がいま行われている。このシエル美術賞の中から多くの新鋭美術家を輩出し、日本の美術界に大きく貢献した。

この賞は、シエル石油である外資系の会社におんぶされてきたわけだ。

しかし、今度は「毛皮のエンバ」が乗り出したのである。民間会社が自力で設定したのである。

まさに快挙である。賞金も総額5百万円と史上最高額である。豪勢なものである。設定に踏み切ったエンバ社長の植野藤次郎さんは「年間宣伝費の10%を文化事業に投じてお役に立っていた」と控え目の発言である。しかしこの一石は大きな反響となって全国を揺り動かすことだろう。しかも、現代美術のすべての分野の参加が可能になっている。現代美術を担う精鋭のどよめきが聞こえる思いだ△Y△

●KOBE POST

★作家の司馬遼太郎さんの住居が変更。新住所は〒57東大阪市中小坂4丁目1番24号です。

★書家の望月美佐さんが毛筆通信講座を開講。12カ月の受講料が三万四千円詳しくは巻03-1792-2161望月書道芸術院まで。

★札幌作法教室の西田祥風さんがこの程、紫水苑・西田郷堂を襲名され、紫水流伝統茶道・華道・煎茶道紫水遠州流宗家、伝統茶道紫水学苑学苑長「紫水苑」西田郷堂としてスタート。〒658神戸市東灘区田中町1ノ14ノ22ノ709巻(43)0419(43)1461

★ピアニストの酒井忠政さんは、リオ・デジャネイロ・コンセルバトワールの客員教授として着任されました。Pro Alie Escola de Musica Rua Goncalo de Castro

85 (Alto) 23560 Teresopolis Rio de Janeiro Brasil

★インテリアデザイナーの牧田博史、佳子さんの「Gアートデザインハウス」が移転。新住所は神戸市長田区大谷町1丁目6-13巻078(641)5008A代V

★花隈の松の家」の鶴殿礼栄さんの長女洋子さんは、東京赤坂東急ホテルの「花くま」店長として活躍中ですが、このほど「オフィス・ウドノ(タレント事務所)」を設立。タレント有吉ひとみさんの所属第1号を手はじめてにスタート。飛躍的發展を目指してはりきっています。事務所〒14東京都板橋区南常盤台2ノ14ノ1305巻03(975)6920代表鶴殿洋子・マネージャー木田博一。よろしくお引立を。

★デザイナーの岡広範夫さんが独立。事務所を大阪市東区北久宝寺町2の28トヨビル奥・蔵の中巻06(271)8121に開所しました。



母が言った。

「あんなおやじならいないほうがましか」

ぼくが言った。

「洋子さんをあまやかして、だめにしていくのだわ」

「あの年になっていまだに」

洋子の父親にたいしてだけ、三人の意見が一致した。

それが滑稽だった。

父とは何だろう。ああいうのが父なのだろうか。それ

ならもう母親だけでけっこうだ。

ぼくはまたよれよれの背広を着て歩いてきた男を思い

出した。疲れてよろけながらもスピードを落さない男の

後姿を思い出した。あんな男をなぜこんなとき思い出す

のかわからなかった。

「さあ、みんな昼ごはんよ」

涼子が言った。ぼくは二階に向って大声で息子の名前を呼んだ。

車の窓から、傾いた酒屋のかんばんが見えた。

「止めて」

涼子は扉を押し開くと、飛ぶように、その店へ入って

いった。ぼくもそのあとを追った。涼子はビールを三本、

かかえてきた。ぼくはそのうち二本を受け取ると、再び

運転席へ坐った。酒はシートの上に転がった。ずっしり

と重そうに、シートを凹ませた。

「おかあさんの新居のお祝いよ」

自動車はまたのろろと動いた。

「お酒買ってきたの」

息子が言った。

「ビールよ。おかあ

さん、どうですか」

「わたしは……」

母は苦笑した。

「心臓が悪いから」

バックミラーの母

の顔は極端に引っ込

んで歯のない女のよ

うに口をもぐもぐさ

せた。それから、喉

仏をひくひくさせ、

両手で額を抱え込ん

だ。

「どうかしたのか」

ぼくはふり返っ

た。

「なんだか酔ったみ

たいやの」

「酒も飲まんのに、

もう酔ったんですか」

「疲れたんだよ、色々変ったもんで」

「大丈夫ですか」

涼子は軀をさすった。

「吐きそうかい」

母は黙っている。汗が皺の中を蛭のように這っている。

「なんだか、心臓がおかしくなって」

また心臓かとぼくは思う。いつもこんなとき母の心臓が狂う。ぼくが洋子の乳房に初めて唇をつけたときのことを思い出す。あのときも心臓が止まりそうやと叫んだ。母は顔を上げたが土色だった。死体のようにむくんでいた。

「大丈夫かな。もうすぐなんだけど」

涼子はしきりにビールを眺めている。ときどき、唾を飲み込む。舌で唇をぬらす。息子は窓の外ばかりを見ている。ぼくも涼子も母もみんなを無視し続ける。

もし、心臓の発作が悪くなればどうするか。ほうっておくわけにはいかない。ぼくが泊まるか、涼子が泊まるかだ。涼子はいやがるだろう。するとぼくが母の看病をすることになる。だが、そんなことになってはならない。どんなことがあってもそんなふうにしてはならない。

母を住まわせる文化住宅が見えた。ちょうど涼子の住んでいた建物に似ている。錆びたてすり、鉄の階段、ペランダの廊下。あの階段だけでも母は不満をうったえらるだろう。登り下りなんかできるものか。おまえはおかあさんを殺すつもりかい。

でも、ぼくは二度と母といっしょに住まないつもりだ。母の臭いをぼくのまわりから消すつもりだ。

「あれですょ」

顎をしゃくくる。息子はあの家、あの家としきりに聞く。

母は苦しそうにしながらも、それを必死に見る。

「遠いじゃないの」

母は言う。小さなうめき声に聞こえる。

「たいした距離じゃありませんわ」

涼子が言う。母は顔をしかめる。汗が落ちる。

自動車止め、車から降りたとき母は吐いた。黄色の液体が道に流れた。きつい臭いがした。母は何を吐いたのだろう。いまのぼくか、過去の自分か。それとも涼子か。だがそういう考え方をするのはもうよそう。ぼくはただそれをじつと見ていさえすればいい。

涼子とぼくが母の肩を持ち、階段を上った。母は黙っている。扉の鍵をぼくが開く。中から冷やかな湿った空気が流れてきた。奥の部屋にベッドが見える。ぼくと洋子が寝ていたベッドだ。あれをここにあげるのに近所の人にまで手伝ってもらった。プラインドから、かすかな光が入ってきていた。畳は黄色く、ヘリがすり切れていた。

母はベッドに横たわるとあえいだ。ちょうど昨夜、ぼくが覗き込んだときのように。生まめかしく聞こえた。涼子は水を持ってきて飲ました。母ははじめて礼を言った。

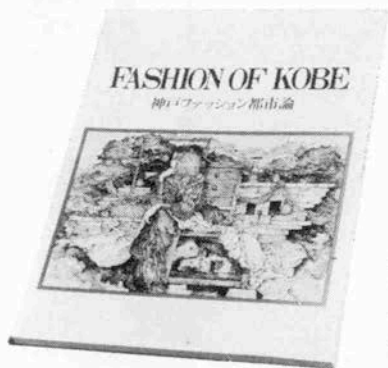
「車、適当なところへ置いてくる」

階段を降りると、鉄の音が鳴った。涼子の部屋から帰るとききの音を思った。あのときはいつも夜中だった。夜のしじまでその音が鳴った。淋しい音だったが、やさしく柔らかだった。いまは午後の陽をまともに受けている。音のひとつひとつが鋭く光をはね返す。熱い金属音が鳴る。

ぼくはいま明るい陽の中にいる。母や息子や涼子や他の多くの人々の視線の中にいる。だから残酷な心を持たねばならない。やさしさを消さなければならぬ。

車内はむし暑かった。汗が噴き出してきて、首筋が粘った。でも、ぼくは車の中に入るとほっとした。気分が安まった。唇から歌が出るほどだった。車が動くときそれがいつそう強まった。

自動車の置き場を捜し、同じところをぐるぐる回った。また、部屋の前までくると、涼子が手を振っていた。そばに息子も立っていた。涼子が走り降りてきて、車に乗



いま花ひらくファッション都市神戸

神戸ファッション都市の理念をここに凝結

明日の神戸を創る 127人のリーダーが
情熱をこめて語る

FASHION OF KOBE

神戸ファッション都市論

自己主張のある余暇とファッション文化
神戸のモダンライフの流れを探る
ファッション都市は日常生活の集積から
スポーツライフがファッションをリードする
ファッション文化に不可欠な創造性
住むのに最高の町、日本の外国、神戸
神戸文化の背景は国際的モダニズム
ファッション都市づくりの核にメッセ(見本市都市)の設置を
ファッション都市はショッピングエリアから
ファッション都市の舞台装置を創る神戸の家具
洋菓子こそ神戸文化のバロメーター
全国の80%を集散する神戸の真珠業界
ファッションは生活のゆとりのなから生まれる
トータルファッションのなかの神戸シユーズ
百年の伝統と世界的技術を誇る神戸の洋服
神戸の生活文化を培うデパートメントストア
ファッションナブルな神戸の魅力をつくる北野町界限
世界的な水準を誇る神戸の味覚文化
長期ビジョンをもったファッション都市づくりを
ファッション都市に必要な空港とホテルと見本市会場
ファッション情報センターの設置が急務
ファッション都市を創る人材を養成する
豊かな文化が経済活動のエネルギー源となる
既成市街地の整備と未来の海上都市の建設
あすの神戸、国際情報文化都市の創造を目指して

市内各書店にて好評発売中!

編集 / 月刊「神戸っ子」

発行 / コミュニティサービス株式会社

(〒650)神戸市生田区東町113-1大神ビル7F TEL. 078-331-2246

定価 1,200円

(送料 350円)

A4版 220頁